



第47回 まちづくり構想部会を開催しました 令和6年1月11日

東淀川区西部地域の各地域のアクションプランの検討状況について、話し合いました。

東淡路・柴島 地域



- ・ 令和5年度にほとんどの事業を再開しましたが、はじめは、集まること自体がまず難しい状況でした。できることからぼちぼちやってきて、なんとか4年間の空白を取り戻したような気がしています。
- ・ 令和6年度に地活協の補助金が改正されるということで、秋頃から各部会ごとに会計の説明会を行い、区の方にも説明に来てもらって、先を見据えた形で意見交換をしています。今後、各事業の見直し、予算配分の再検討など、1年をかけて話し合っていきたいと思います。

下新庄地域

- ・ 2月3日に集まって、これからの取り組みについて議論を拡げていきたいと考えています。
- ・ コロナ以降、今年は事業や活動がほぼ復活しました。主な活動をご紹介します。
- ・ 子ども食堂は毎月最終土曜日に、子ども達にカレーを100円(おかわり自由)で提供。毎回100人前後が参加しています。
- ・ 5月は鯉のぼり、6月は小学1年生向けのイベント「シャボン玉で遊ぼう」、7月は小学校で「サマーフェスタ」、8月のパレード(暑さのため室内開催)・盆踊り、学校でのミニキャンプ(カレーづくり、花火大会、映画など)、10月は「ふれあい敬老会」(社協と合同開催)、11月はだんじりまつり・たいこまつり、12月はイルミネーションにあわせてイベントを開催。
- ・ 参加した子ども達はとても楽しそうで喜んでいました。2月には、学校で餅つきを予定。
- ・ 駅周辺の高架化工事は、橋脚など一気に進んできたので、まちの将来がイメージしやすくなったと思います。2月に地域での意見交換会を開催予定です。
- ・ 子ども達と高齢者の安全、子ども達のためになる活動、一人暮らしの高齢者向けの取り組みなどについて、考えていきたいと思います。

西淡路地域

- ・ 新大阪駅周辺について、国の都市再生とあわせ「世界と日本／関西の玄関口」といった大きなことが書かれていますが、実際に生活者の目線でまちづくりを進めていけるよう、地域の皆さんと意見交換をしながら最終調整を進めていきたいと思います。
- ・ もと西淡路小学校跡地については、売却せず定期借地などで活用する方向になったそうです。現在も旧校舎などを地元の方が使っていますので、利活用に関する地元の意見をとりまとめていきたいと思います。

菅原地域

- ・ 協議会の取り組みについて、区が町会長会に説明に行くことで調整しています。
- ・ 菅原地域では、連合の活動もあるが、町会ごとの活動が活発と聞いています。

情報提供 & 意見交換

- ・ 久教授(近畿大学総合社会学部教授)から、「東淡路・柴島地域の報告のように、予算の見直しやコロナ禍の影響で従来やれていたことができなくなるのは、“本当に必要なものを吟味して考えるための棚卸し”のような良い機会だと思う。1つ1つの活動をどうするか。どれかを廃止しなければならないのであれば、今後取り組んでいくべき“大きな柱”を考えたい。優先順位を考え、ストーリーの中で納得してもらって継続するのであれば、その活動を“大きな柱”の中にどう位置付けるのか、次の何十年間についても考える。この“大きな柱”がアクションプランにも繋がるのでは。」とのお話がありました。
- ・ 久教授や部会長から、大学生・高校生など、まちづくりに関心のある若い人たちに、もっと地域の意見交換や活動に参加してもらえるようになるとうい、という意見が出ました。

